

試合番号 : 147		試合会場 : ことぶきアリーナ千曲 (千曲市更埴体育館)				観客数 : 1,027				
開始時間 : 13:00		終了時間 : 15:03		試合時間 : 02:03		主審 : 桑原 健輔		副審 : 新田 浩幸		
VC長野トライデンツ		通算 0勝 10敗 ポイント : 1		23 第1セット 25		東京グレートベアーズ		通算 4勝 6敗 ポイント : 14		
監督コメント	昨日の試合から気持ちの取り替えがしっかりでき、最後まで良く戦ってくれました。技術面で向上しなくてはならない課題が多く見られ、今後の試合に向けて修正・技術練習をしっかりやっていきたいと思っております。東京グレートベアーズの安定したサーブからサイドアウトを私たちがも見習い、今日より高い確率でサイドアウトが取れるようにしていかなければ他チームに対して高い確率で勝つ事は厳しいと思っております。チーム力向上に向け、日々の練習から質の高い練習をしていきたいと思います。来週の松本でのホームゲームのご声援本当にありがとうございます。来週の松本でのホームゲームもよろしくお願いたします。			1		3	監督コメント	今日の試合はVC長野がサーブをアグレッシブに攻めてきて、自分達にタフな時間が続きました。そんななかでも、サーブレシーブで大きく崩れることなく、安定したレセプションとオフェンスを作り上げることができて、自分達に良い流れができたと思っております。私たちのバレーボールスタイルをたくさんのお客さんに見せることができたことを嬉しく思います。		
				25 第2セット 22						
				16 第3セット 25						
				21 第4セット 25						
				第5セット						
要約レポート 初勝利の欲しいVC長野トライデンツと、昨日の勝利で8位から7位へ順位を一つ上げた東京グレートベアーズとの対戦。第1セット、戸壽、亀山のスパイクでリズムに乗った東京GBがアラウージョのスパイクで15-7とさらにリードを広げる。VC長野は交代で入った池田のサーブから修のスパイク、下川のブロックで追い上げ、下川のサービスエースで1点差に迫るが、終盤アラウージョの強打で優位を保った東京GBがセットを先取る。第2セット、VC長野は修、小野、東京GBはアラウージョ、戸壽がスパイクを決めて競り合いが続く。VC長野がわずかにリードする展開から、終盤VC長野はリベロ備の好手から藤原が決めて22-18とリード。第3セット、戸壽のスパイクでブレイクを重ねた東京GBが先行するが、VC長野は藤原のスパイクとブロックで追いつく。中盤、東京GBは深津の好手からアラウージョ、戸壽が決めて再びリードし、亀山の3連続スパイク得点で差を広げ、修のスパイクで反撃するVC長野を突き放した。第4セット、東京GBは戸壽、アラウージョのスパイクでブレイクを重ね主導権を握ると、中盤でも武藤、山田の速攻が決まりリードを保つ。VC長野は修、トレントのスパイクで追撃し、波佐間のブロックで3点差に迫るも、戸壽がバックアタックを決め東京GBが勝利した。										
試合番号 : 148		試合会場 : パナソニックアリーナ				観客数 : 2,837				
開始時間 : 14:05		終了時間 : 16:19		試合時間 : 02:14		主審 : 山本 晋五		副審 : 木内 誠二		
パナソニックパンサーズ		通算 7勝 1敗 ポイント : 21		25 第1セット 21		ウルフドッグス名古屋		通算 7勝 3敗 ポイント : 21		
監督コメント	美しい試合でした。今日は非常に大事な試合で、途中出場した選手が何よりも素晴らしい試合でした。2セット目はファウルとして切り替えるのは難しいと思いましたが、3セット目を取る事が出来た。4セット目は少し調子が落ちましたが、途中出場した選手が雰囲気を一気に変えてくれました。来週も大事な試合があるので、応援よろしくお願いたします！			3		1	監督コメント	2日間たくさんのファンの皆様試合を観て頂き、とても良い環境でプレー出来たことを本当に嬉しく思いますし、感謝しております。本日の試合でもハイレベルのゲームとなりましたが、我々の武器であるチームワークにおいて、チーム全員で戦えたことは、今後の礎となると信じています。来週は一宮市にある"いちい信金アリーナ"でのホームゲームが予定されています。しっかりとコンディションを作り、一つひとつの試合に向けて備えていきたいと思います。2日間、たくさんの熱い応援ありがとうございました。また、メディアを通じて応援してくださった世界中のウルフドッグス名古屋ファンの皆様、本当にありがとうございました。		
				25 第2セット 27						
				25 第3セット 21						
				25 第4セット 23						
				第5セット						
要約レポート 現在2位のパナソニックパンサーズが、3位のウルフドッグス名古屋をホームに迎える二戦目。第1セット、序盤からパナソニックは山内のサービスエース、西田のスパイクで点差を広げた。WD名古屋もクレクや高梨のスパイクで追いつけるも、最後は西田が豪快にスパイクを決めてパナソニックがセットを先取る。第2セット、パナソニックはこの試合サーブが好調の山内がサービスエースを決めるなど終盤まではリードするも、高梨のサービスエースやクレクのスパイクで徐々に点差を詰めたWD名古屋がデュースの接戦を制して、セットを取り返した。第3セットは、セットの序盤から大塚のスパイクなどでパナソニックがリードを奪う。中盤以降も西田のサービスエースが決まるなど、WD名古屋の追い上げを許さず、パナソニックがセットを奪った。第4セットは、WD名古屋が先行するもパナソニックは途中出場の西山、仲本、セッター新の活躍で盛り返し、ホームの大歓声を力にしたパナソニックが試合を制した。										
試合番号 : 149		試合会場 : スカイアリーナ (第一総合運動場)				観客数 : 1,162				
開始時間 : 13:30		終了時間 : 15:16		試合時間 : 01:46		主審 : 戸川 太輔		副審 : 西山 尚幸		
サントリーサンバーズ		通算 9勝 1敗 ポイント : 26		26 第1セット 24		日本製鉄堺ブレイザーズ		通算 6勝 4敗 ポイント : 18		
監督コメント	本日もサンバーズへのご声援ありがとうございました。日鉄堺BZは、予想通りメンタル的にも修正されてこられたと思います。選手にはファウル試合になるだろうという事は伝えていたが、相手へのリスペクトを忘れず、昨日から良い準備と切り替えを行ってくれたことが今日は非常に良かったと思います。今日のような試合は選手・スタッフの成長はもちろん、多くのバレーボールファンにも喜んでもらえるものだと思います。ハイレベルな試合、シーズンを"PLAY HARD"のスローガンのもと、一歩一歩成長していけるチームでありたいと思っております。年内最後のホームゲームに多くのファンの方々と喜びを分かちあうことができればと思います。引き続きサンバーズとともにバレーボールという素晴らしいスポーツを楽しんでいきたいと思います。ありがとうございました。			3		0	監督コメント	昨日の敗戦からチームとして修正し対策して臨めたことで、今日は良い戦いができたと思います。守りに入らないという部分を徹底して話しており、チームとしてアタックを打ち切る意識も強く持って戦えたと思います。ただ、最後の1本を打ち切る、勝ち切るという部分が少し足りなかったのが今日の敗因だったと思います。チームとしてひと回り強くなり、勝ち切るチームになれるようまた来週以降も戦っていきます。本日も熱い声援ありがとうございました。引き続き応援宜しくお願いします。		
				25 第2セット 22						
				32 第3セット 30						
				第4セット						
				第5セット						
要約レポート サントリーサンバーズが日本製鉄堺ブレイザーズをホームタウン裏面に迎える第2戦。第1セット、終盤まで両チームともにサイドアウトを繰り返す大接戦。日鉄堺BZはバーンのブロックで勢いをつけるも、サントリーは藤中(謙)のブロックで抜け出し、勢いそのままにサントリーがセットを先取る。第2セット序盤、日鉄堺BZは、バーンの強烈なアタックでチームに勢いをつける。中盤、サントリーは藤中(颯)のアタックレシーブやアラインのサービスエースで追いつく。その後、サントリーが藤中(謙)のサービスエース、大宅のブロックポイントでセットを連取する。第3セットも序盤から日鉄堺BZ強口、サントリー・アラインのアタックを中心にサイドアウトの攻防が繰り返される。中盤、サントリーは小野のサービスエースやブロックで流れを作ろうとするも、日鉄堺BZがバーンの強烈なアタックとブロックで応戦し、30点を超える大接戦となる。最後は、サントリーが打ち合いを制し、アラインのダイレクトアタックで勝利を決めた。										
試合番号 : 150		試合会場 : IHIアリーナ呉 (呉市体育館)				観客数 : 1,203				
開始時間 : 13:00		終了時間 : 15:03		試合時間 : 02:03		主審 : 原 啓之		副審 : 國頭 亮太		
JTサンダーズ広島		通算 8勝 2敗 ポイント : 23		17 第1セット 25		東レアローズ		通算 4勝 6敗 ポイント : 11		
監督コメント	非常にタフな試合だったが、途中出場した選手が試合の流れを変え、チーム一丸で勝利出来たと思う。昨日と比べてブロック、ディフェンス面が向上し、難しい状況で得点を重ねられた事が大きな要因だ。次のVC長野戦に向けて良い準備をして臨みたい。ファンの皆様ご声援ありがとうございました。			3		1	監督コメント	今日の試合はJT広島島のラッセル選手を抑えることが出来ず、悔しい敗戦となりました。今週は1勝1敗と少しづつではありますが、チームは一歩ずつ前に進んでいると感じます。また来週レベルアップをした姿を見られるよう準備して臨みたいと思います。2日間、たくさんの応援ありがとうございました。		
				25 第2セット 23						
				26 第3セット 24						
				25 第4セット 22						
				第5セット						
要約レポート ホームゲームで呉の観客に勝利を届けたいJTサンダーズ広島と、昨日の勢いそのまま連勝したい東レアローズの一戦。第1セット、JT広島島のスパイクやブロックで連続得点しリードするが、東はバダルのサービスエースで追いつく。中盤JT広島島の連続ミスで流れは東に傾く。JT広島島は安永、山本を入れ流れを変えようとするが、その後も富田のサービスエースやスパイクなどで突き放した東がセットを先取った。第2セット、JT広島島は緊急あるサーブで東のレシーブを乱すも、東は酒井の安定したトス、そして粘り強いレシーブによりボールをコートに落とさない。一方、JT広島島はラッセル、江のスパイクを中心に得点を重ね、終盤ラッセルのブロックポイントから流れを引き寄せ、セットを奪い返した。第3セット、序盤から得点を重ねた東が2点のリードを保ったまま中盤へ突入した。JT広島島は、金子、山本を入れると、ラッセルのサーブでリズムをつかみ同点に追いついた。終盤までもつれ、デュースに突入したが、JT広島島は山本がチームを引っ張る。勢い保ったままセットを連取した。第4セット、JT広島島が第3セットの勢いそのままリードする展開。東は西本のクイックで反撃するも点差は縮まらなかった。JT広島島は安永を中心にまとまり、攻撃力もアップした。最後は呉の熱い声援に後押しされたラッセルのスパイクが決まり、この試合を制した。										